

保護者負担軽減計画について

<京都府提出資料>

学校名	京都聖カタリナ高等学校
所在地	京都府南丹市園部町美園町1号78番地
電話番号	0771-62-0163

<p>(1) 建学の精神</p>	<p>カトリック精神にもとづく人格教育に重きを置き、特性を磨き、品性を高め、良心に従って生活する真の人間を育成します。</p>																																							
<p>(2) 本校の特色及び将来展望</p>	<p>本校は、キリストの教えのもとで学び、個々の適正、能力、関心を高め、キャリア人として成長するため、看護科・普通科ともに目標を国家資格、民間資格等の取得に定め、社会に貢献できる人間の育成に努めます。今後社会は、少子高齢化が一段と進む中で、益々必要とされる看護師の育成を中心に社会のニーズにあった特色ある学科を目指します。</p>																																							
<p>(3) ・令和7年度納付金</p> <p>※学科やコースによって納付金に差異がある場合は最低額を計上。</p> <p>・今回改定 あり <b>なし</b></p> <p>・前回改定 令和5年度</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="2">【1年生】</td> <td>入学金</td> <td>施設拡充費 (入学時)</td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計 (入学時除く)</td> <td>審査料</td> </tr> <tr> <td>60,000</td> <td>70,000</td> <td>366,000</td> <td>153,000</td> <td>519,000</td> <td>20,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">【2年生】</td> <td colspan="2"></td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>366,000</td> <td>153,000</td> <td>519,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">【3年生】</td> <td colspan="2"></td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>366,000</td> <td>153,000</td> <td>519,000</td> <td></td> </tr> </table> <p>*施設拡充費等には、施設拡充費、校費、実験実習費、冷暖房費等の入学金、授業料及び検定料以外の納付金で、学則に定めのあるものすべてを含む。ただし、PTA、生徒会等、学校法人とは別団体に属する経費、任意寄附金及び給食費は除外。</p>	【1年生】	入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	審査料	60,000	70,000	366,000	153,000	519,000	20,000	【2年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計				366,000	153,000	519,000		【3年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計				366,000	153,000	519,000	
【1年生】	入学金		施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	審査料																																	
	60,000	70,000	366,000	153,000	519,000	20,000																																		
【2年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																			
			366,000	153,000	519,000																																			
【3年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																			
			366,000	153,000	519,000																																			
<p>・今後の納付金に対する考え方</p>	<p>上述の本校の特色及び将来展望における「社会に貢献できる人材の育成」を進めるためには、社会変化に対応した特色ある教育の実施や日々進化するICT等教育設備の更新など、ソフト・ハード両面における教育環境の改善が必須である。 また、多様な背景を持つ生徒の受け入れのため、メンタルヘルスへの対応を含めた生徒のケア体制の充実も必要不可欠である。 これらの教育環境の改善・充実のために納付金を充てるべきものと考えている。燃料費の高騰などの影響により、一昨年度納付金の一部値上げを実施したが、保護者等の納付金負担が大きくなりたくないようさらなる経営の合理化や効率化を図る。</p>																																							
<p>(4) 教育内容、施設整備の改善・拡充等の状況</p>	<p>看護科では、社会のニーズに応えられる質の高い看護師の育成により一層注力するため、医療機関等とも連携しながら教育内容の充実に取り組んでいる。 普通科では、従来の5つの系(子ども保育、健康スポーツ、調理・パティシエ、どうぶつ、PCクリエイティブ)の取組みに加えて、進学に特化したアドバンスコースを設置し、4年目を迎える。これまでの教育効果や卒業生の進路実績などを踏まえて、教育内容の見直しや改善に取り組んでいる。 また、施設設備の改善・拡充等については、緊急度・優先度を検討したうえでスケジュールを作成し、京都府等の補助金を活用しながらより効率的な資金投下ができるよう整備を進めている。</p>																																							
<p>(5) 令和7年度の保護者負担軽減策及び考え方</p>	<p>昨年度に引き続き、物価上昇が保護者の家計負担に大きな影響を与えている。そのような状況下で、少しでも保護者の負担を軽減するよう、本校では、国や京都府の学費軽減に関する施策を優先的に取り組んでいる。私立高等学校の授業料実質無償化などの動向を勘案しながら、それらの施策とあわせて学校独自の学納金減免制度として、特待生制度、兄弟姉妹在学者学費軽減制度などを実施する。 加えて、学納金や諸経費を低額に抑えるよう努め、納入方法についても、分納制等を取り入れるなど支援策の充実を図る。</p>																																							
<p>(6) 今後5年程度の保護者負担軽減計画</p>	<p>本校では、日頃から経費節約と人件費を削減するなど支出削減に努め、内部努力による財務状況の改善を進めている。学納金に関しては昨年度より冷暖房費の値上げを実施したが、依然として低額の設定である。今後も可能な限りこれを維持し、保護者の負担を軽減するように努めていく。</p>																																							